

センターだより－林檎－

りんご



放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペース

令和元年7月発行



2018年度面接授業より。青森SC・八戸SSでは毎年、地域の特性を生かしたセンター外面接授業を開講しています。

(写真：中央上から時計回りに『白神学－白神の動物と植物』（青森SC）、『環境と生物－種差海岸で考える－』（八戸SS）、『是川遺跡からわかる縄文文化』（八戸SS）、『発掘が語る縄文文化』（青森SC）



特集 学生行事レポート・ゼミレポート 2019-1 単位認定試験／2019-2 面接授業



- 2 | 巻頭言：「人の成長にかかわる」
- 3 | 学生行事レポート、新任職員の挨拶
- 4 | 客員教員・所長ゼミレポート
- 6 | 2019年度第1学期

- 8 | 2019年度第2学期面接授業について
- 10 | 次学期へむけての手続き
- 11 | 7・8・9・10月のスケジュール
- 12 | 事務室からのお知らせ

単位認定試験のご案内



放送大学青森学習センターホームページ
放送大学青森
ホームページ
放送大学青森

巻頭言

-かんとうげん-

人の成長にかかわる

青森学習センター客員教員

藤田 あけみ



国際看護師協会（ICN）によると、看護とは、あらゆる場であらゆる年代の個人および家族、集団、コミュニティを対象に、対象がどのような健康状態であっても、独自にまたは他と協働して行われるケアの総体であるといわれています。看護には、健康増進および疾病予防、病気や障害を有する人々あるいは死に臨む人々へのケアが含まれます。看護は人を対象にした援助活動であり、基盤にあるのは人間関係です。人に関心をもち、その人の行動の意味を理解しようとするための誠実なかかわりが重要です。ケアと同じような意味で使用されている言葉にケアリングがあります。哲学者のミルトン・メイヤロフは、「一人の人格をケアすることは、最も深い意味で、その人が成長すること、自己実現することをたすけることである」と述べ、他者へのケアを通して自分自身も成長できるケアリングの基本概念を確立しています。

私は、このような看護やケアリングの考え方を基盤に、看護師としての臨床経験や看護教員としての経験から、術後の大腸患者の QOL の研究、看護学生の学習成果に関する研究、がん患者や家族への研究を行ってきました。研究を通して、対象となった方々の QOL 向上のためには、対象者の自己効力感、自尊感情を高めることが重要ということがわかってきました。自己効力感とは、何らかの課題に直面した時、自分はそれが実行できるという期待や自信のことです。看護介入は、これまでの研究の成果から、教育的かかわりをベースにしました。すなわち、対象者が健康に対する望ましい考えや行動を獲得できるよう支援することです。支援として、自己効力感の向上のために言語的説得、遂行行動の達成、代理的経験、生理的情動状態についての介入を行いました。そして、コーチングのモデルの1つである GROW モデル（目標の設定 Goal・現状把握 Reality・方法の選択 Option・目標達成の意思確認 Will）を実践しました。

コーチングは、1990年頃から米国を中心に広まった能力開発の手法で、日本でも2000年頃から経営者やマネジャー研修の一環として実践されています。同様のアプローチとして、カウンセリングは治療、コンサルティングは解決策の提示を目標にしているのに対し、コーチングはクライアント（対象者）の目標を達成する手助けをする「支援」を主眼に置いているため、個人の能力向上の手段として最適といわれています。

これからも看護師として、教員として、「人の成長にかかわる」ために、自己効力感や自尊感情を高め、コーチングの手法を用いて、自己実現の支援ができるようなかかわりについて考えていきたいと思えます。

～学生行事レポート～

4月29日（月）に学友会の恒例行事「観桜会」、また、5月11日（土）に同窓会の定例総会が行われました。

学友会恒例！観桜会での一コマ

4月29日（月）、学友会恒例行事の観桜会が弘前公園で行われました。今年の桜は少々早咲きで、観桜会当日は散り始めていたものの、見事な花筏を見ることができたようです。

学友会では、春は観桜会♪秋はそば打ち会♪そして「勉強のコツおしえます！」では新学期（4月・10月予定）に貴重な情報を教えてください。ほかにも様々な行事が開催されます。

入会は事務室窓口で随時受付しておりますので、お気軽にお問い合わせください。



ハイ！チーズ♪の学友会集合写真



見事な花筏です

同窓会定例総会

5月11日（土）、青森学習センター講義室で、同窓会定例総会が開かれました。久しぶりに再会する卒業生・修了生同士のよい交流の場となったようです。

同窓会では、昨年度に引き続き、年末に卒業生・修了生を囲む祝賀パーティーや、そのほか、他同窓会との交流として、東北・北海道ブロック同窓会交流会を開催する予定だそうです。

これから卒業・修了を迎える皆様、放送大学で学んだ知識や経験を、今後学びを始める放送大学生に伝えるため、同窓会へ参加されてみてはいかがでしょうか。

～新任職員の挨拶～



青森学習センター事務長
工藤 弘文
(くどう ひろふみ)

4月から事務長として、青森学習センターに採用となりました工藤と申します。前職は弘前大学でしたが、八戸工業高等専門学校にも2年半ほど勤務しておりました。

自宅は弘前市です。趣味はスポーツ全般で、野球やバドミントンは長く続けていましたが、今は観戦が主になりました。最近は家庭菜園に少しハマっていて、野菜作りの経験は全く無いながらも試行錯誤しながら楽しんでいます。今年は、ジャガイモやサツマイモに挑戦中です。

弘前大学に勤務していた時に職員研修プログラムの一環として放送大学の授業を受講する機会をいただきましたが、1科目のみで終わってしまい、今思うと大変もったいないことをしたなと思っています。

今回、青森学習センターのスタッフとして加わり、学生の皆様の勉学のサポートをさせていただくことで、私自身も皆様から刺激をいただき、学びの場としての放送大学を活用できればと思っています。

新米事務長ですが、放送大学に関する様々な内容を勉強し体験し、一日も早く皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



青森学習センター総務主任
乗田 朋宏
(のりた ともひろ)

2年前に弘前市内の特別支援学校の教員を定年退職した後、黒石市の学習適応指導教室で不登校の子供達と過ごし、縁あってこちらにお世話になることになりました。

自宅は黒石市。家族は4人で、独立した子供と孫が五所川原と東京にいます。趣味は音楽とアウトドア。パーカッションアンサンブル〈ファルサ〉という打楽器だけでいろいろな音楽を演奏するグループで活動しているほか、夏はカヌー、冬はスキーに出掛けていますが、最近は何っきり回数が減り、温泉に入って冷たいビールというインドア傾向が強くなっています。

こちらに来て一番感じていることは、毎日がとても静かなこと。これまで子供達と一緒に活動する生活が当たり前で、毎日がとても賑やかだったので、初めて大人だけの世界に身を置いて、正直ちょっと寂しい気はしますが、熱心に学んでいる学生さんの様子を拝見しながら、気持ちを新たにしています。

広報を担当しますので、放送大学で学ぶ楽しさを一人でも多くのおみなさんにお伝えできればと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

客員教員・所長ゼミレポート

青森学習センター・八戸サテライトスペースでは、毎学期、客員教員と所長のゼミを開催しております。2019年度第1学期開催のゼミについて、学生さんと先生からのコメントをご紹介します。ゼミに参加しようかどうか考え中の皆様、ゼミは単位にはなりませんが、先生方や他の学生さんと勉強する良い機会です。お気軽にお申し込みください！

★カーペンター ピクター リー 先生ゼミ「英語で文章を作成する」(青森 SC・指定の火曜)

【学生さんからひとこと】

●「英語で文章を作成する」指定の火曜日(14:00～15:00)のゼミに参加しています。英作文だけではなく、日本語訳、英会話も練習できますし、また講師のカーペンター先生を通してアメリカの文化やアメリカ人の考え方も知ることができます。毎回ゼミ終了時には充実感、満足感で一杯。試しに一度出てみてください。(Y.H)

【先生からひとこと】

●このゼミでは、毎回参加する学生が自分の日常生活や体験、または関心のあるトピックについて短い作文をして提出してきます。教室で私が添削します。しかし、ネイティブとはいえ、万能ではありません。結構、参加する学生のほうから「いや、先生の英語だと書いた人の意向がうまく伝わらないんじゃないの?」と指摘を受け、日本語と英語を交えて英語の表現や日本語と英語の違いなど活発に意見交換を行います。

★根城 隆幸 先生ゼミ「子どもの貧困を考える」(八戸 SS・指定の火曜)

【学生さんからひとこと】

●「子どもの貧困」について、具体的な定義と実状、行政の対策などを知ることができました。大学の先生から直接学べる貴重な時間で、とても充実しています。今後も話し合いながらの授業も予定されているそうで楽しみです。

【先生からひとこと】

●子どもは社会の宝であり、健やかに成長していくために、家庭及び社会で環境を整えていくことが大切です。しかし、現実には児童虐待等の問題が報道されており、2013年には「子どもの貧困対策法」が可決されていますが、なかなか改善されていない状況にあります。そこで、新聞や各種統計などを参考に、子どもの貧困をテーマにゼミを開講しています。

★青山 正和 先生ゼミ「植物と土」(青森 SC・指定の水曜)

【学生さんからひとこと】

●出席すると新しい知識をふやすことが出来て楽しいですよ。
●今まで梅やアブラナについて学んできましたが、「なるほど、そういう事だったんだ!!」と植物の性質や能力など、新しい発見や知識がどんどん増え、とても楽しいです。身近な植物の生命力と一緒に感じてみませんか?

【先生からひとこと】

●ゼミでは、「植物のひみつー身近なみどりの“すごい”能力」という本をテキストに、植物について様々なトピックから学ぶとともに、土壌学の立場からの解説を加え、植物と土、さらには農業や環境問題まで幅広く、なおかつ楽しく議論する場になっています。気軽にご参加ください。

★水田 智史 先生ゼミ「生物の進化を考える」(青森 SC・指定の水曜)

【学生さんからひとこと】

●今、ここに在る「私」は、この宇宙の長い時間の幸運の積み重ねの進化の中にあるという、楽しく、そして重い内容のある時間です。(E.N)
●シロアリが作った巨大な建造物、空を飛ぶトビヘビ、独自に進化したホタテ貝やイカの眼の仕組みなど、生物の進化について学んでいます。先生の丁寧な解説と色鮮やかな資料、画像や映像で毎回様々な生物に出会い、新しい発見と感動を味わいながら楽しく勉強しています。(T)

【先生からひとこと】

●今期のゼミでは生命の進化について受講生のみなさんと一緒に勉強しています。例えば物を見るための眼が進化の過程でどのようにしてできてきたのか、考えてみると不思議に感じませんか? 肩ひじ張らずに参加していただけたらと思いますので、「生命」についても興味をおもちでしたら、ちょっと覗いてみてください。

★若生 豊 先生ゼミ「今日の生命科学を考える」(八戸 SS・指定の水曜)

【学生さんからひとこと】

●「今日の生命科学を考える」1学期全10回を受講しています。生命科学の入門となっていますが、勉強しなければついていけません。実にやりがいのあるゼミナールです。興味のある学生は是非チャレンジしてください。(Y.T)

【先生からひとこと】

●生命科学分野で日本人のノーベル賞受賞が相次いでいます。本ゼミではゲノムや免疫などの興味ある課題を生命科学の入門書を読み解きながら皆さんと一緒に考えます。さらに細胞の顕微鏡観察、タンパク質三次元データベースの観察や、第2学期にはイムノクロマトによる組換え作物の鑑別などの体験も取り入れて楽しく進めたいと思っています。



★内海 隆 先生ゼミ「子ども論と教育」(青森明の星短期大学・指定の水曜)

【学生さんからひとこと】

●青森市内で参加できる唯一のゼミです。現在2名でゼミを受けているのでアットホームな雰囲気です。質問もしやすいです。内海先生も写真で見ると、実物のほうがやさしい笑顔のステキな先生ですよ。

【先生からひとこと】

●このゼミでは、『発達・制度・社会からみた教育学』(北大路書房)をテキストに子どもと学校、社会を教育学の観点から考えていこうと思っています。具体的には、子どもの生活と文化をとりまくさまざまな課題(コミュニケーションや遊び、学習、労働など)を子どもの発育・発達、さらには学校教育施設などと関連させて考えていきます。

★尾崎 名津子 先生ゼミ「文学を通して東京の近代を追体験する」(青森 SC・指定の木曜)

【学生さんからひとこと】

●ゼミのタイトルは東京ですが、日本近現代作家の小説を奥深く勉強するゼミです。講師の尾崎先生は情熱的に教えてくれますので、興味のある方は是非参加してください。

【先生からひとこと】

●このゼミでは、「日本の明治期以降の小説が、都市空間と人間との関係をどのように描いてきたか」をテーマに勉強しています。志賀直哉や森鷗外など、よく知られた作家が生きた時代や彼らの人生をふまえつつ、短い小説を丁寧に読み解いています。発見が多いゼミにしたいと思っています。どうぞお気軽にご参加ください。

★藤田 あけみ 先生ゼミ「看護学」(青森 SC・指定の金曜)

【学生さんからひとこと】

●コーチングには、日常から実践できる心理学の知見や精神療法の技法などがぎっしり詰まっています。まるで宝箱です。子供が宝箱を開けるときのようにワクワク、ドキドキしながらゼミに参加しています。

【先生からひとこと】

●「コーチングのすべて」というテーマでゼミを開講しています。コーチングは個人の能力向上の手段として最適といわれています。自分を向上させたいと思っている方、誰かの能力開発のお手伝いをしたいと思っている方は、ゼミに参加して一緒に学んでみませんか。ゼミでは、様々な話をしながら楽しく進めています。皆様の参加をお待ちしています。



★平岡 恭一 先生ゼミ「老いと行動心理学」(青森 SC・指定の金曜)

【学生さんからひとこと】

●4月からサイコロサークルへ参加させていただいております。自分4年制大学を卒業し、当大学へ編入しました。これまでは比較的年齢が近い同士で議論をする場面が多かったのですが、当サークルに入会してから幅広い世代の様々な考え方や意見、職業についての実体験などが聞けて、とても新鮮で勉強になっています。日常の気になっている話題に関する議論から始まり、「心理学ワールド」という日本心理学会から出版されている機関誌から「老い」に関するテーマで学んでいます。議論していくうちにあっという間に時間が過ぎてしまいますが、毎回充実した学びができると思いました。



●平岡先生は終了時に「今日も勉強になった。」と話されます。それは参加者一人一人の存在が大切にされ何でもしゃべって大丈夫、話せて聞いてもらえるあたたかい雰囲気があるからだと思えます。ですから毎回盛り上がっている楽しみなゼミです。

【先生からひとこと】

●このゼミでは、「老い」について、主に行動心理学の観点から、本や論文を読んでディスカッションをしています。老いは多くの人に関心を持つテーマだけに、回を追う毎に出席メンバーが増えてきて、うれしい限りです。メンバーは高齢者介護のベテランから学校出たての若い方まで、実にさまざまです。豊富な経験を持っている方も多く、テキストの勉強そっちのけで、話が盛り上がることも度々ですが、最後はちゃんと老いの問題に戻ってくるのを見てると、さすがだなあと感じます。私自身も多少介護福祉に関わっているので、大いに勉強させてもらっています。幅広いテーマなので、どなたでもすぐ話の輪に入っていけると感じます。どうぞお気軽にご参加ください。

★浅野 清 所長ゼミ「ピアニストとピアノ音楽の歴史」(青森 SC・指定の土曜)

【学生さんからひとこと】

●難しそうなゼミの印象でしたが、進み方もゆっくりで曲を聴きながらの時間もあり、裏話もあり、素敵な時間を過ごすことができます。(T)
●ピアニストである浅野所長による音楽用語の解説や CDなどを聞いて何うお話は、一人でテキストを読むのとは違う「ピアノ音楽の巨匠たち」の深い理解につながりそうです。今後が楽しみです。

【先生からひとこと】

●「感動した」という言葉さえ陳腐に聞こえてしまうほどの演奏に接した経験や、これまで秘密にしていた活動・失敗のことを交えながら古今東西のピアニストを紹介しています。ピアノ音楽、ピアニスト、ピアノ教育を身近に感じてもらえるよう努力します。

学期途中からの参加も可能です！実施日時・お申し込み方法等詳細は、事務室へお問い合わせください。

2019年度第1学期 単位認定試験のご案内

放送授業を科目登録し、通信指導の結果により受験資格を得た方は単位認定試験を受験することができます。試験日の約1週間前までに大学本部から送付される「単位認定試験通知（受験票）」と、受験票に同封される「単位認定試験受験に際しての注意事項」を必ず確認してください。

試験日時・試験会場

- 大学院…7月19日(金)・7月20日(土)
 - 教養学部…7月21日(日)～7月28日(日)
- ※7/22(月)・7/26(金)・7/29(月)・7/30(火)は閉所日です。

●青森学習センター

- ・大学院：青森学習センター講義室
 - ・教養学部：コラボ弘大8階八甲田ホール
青森学習センター講義室(注)
- (〒036-8561 弘前市文京町3 コラボ弘大内)

●八戸サテライトスペース

- ・大学院：ユートリー4階研修室
 - ・教養学部：ユートリー5階視聴覚室
ユートリー4階情報室・5階研修室(注)
- (〒039-1102 八戸市一番町1-9-22 ユートリー内)

(注) 7/21(日)・7/23(火)・7/27(土)の
リスニング科目試験会場

-試験時間割-

時限	時間
1時限	9:15～10:05
2時限	10:25～11:15
3時限	11:35～12:25
昼休憩	
4時限	13:15～14:05
5時限	14:25～15:15
6時限	15:35～16:25
7時限	16:45～17:35
8時限	17:55～18:45

- ※ 試験開始10分前までに入室してください。
- ※ 遅刻は試験開始後20分まで認めますが、試験時間の延長は認めません。

座席

座席はすべて科目ごとの指定となります。

- ・試験会場入口に「座席表」が掲示されています。受験する科目に該当する座席番号を確認してください。
- ・試験室の机には番号が貼られていますので、確認した番号の範囲で空いている席に着いてください。
- ・新規登録科目と再試験科目の試験時限が重なった場合は、どちらか1科目を選択し、該当科目の席に着いてください。

受験の際に必要なもの

① 単位認定試験通知（受験票）

7月12日(金)になっても受験票が到着しない場合、あるいは紛失した場合は、大学本部に連絡してください。
(電話：043-276-5111(総合受付))

② 学生証

学生証の受け取りがまだの方、または有効期限切れの方は、右記をご参照ください。

③ 持込み許可物品（科目により異なります。）

受験票に同封されている「単位認定試験時間割」で確認してください。

また、各科目の出題形式（択一式・記述式・両者併用式）も記載されていますので、あわせて確認してください。

※試験の約1ヶ月前から学習センター・サテライトスペース掲示板やシステム WAKABA でも確認できます。

④ 筆記用具

筆記用具はHBの黒鉛筆を使用してください。



学生証の受け取りは お済みですか？

学生証は、単位認定試験受験時に受験票とともに必ず机の上に提示していただきますので、試験前までに必ず所属の学習センター・サテライトスペース窓口にて受け取りを済ませてください。

受け取る際には、新規入学・継続入学生は入学許可書を、在学学生で学生証の有効期限切れの方は有効期限切れ学生証をお持ちください。

なお、大学本部へ顔写真を登録していない方は学生証の発行ができませんので、システム WAKABA の「学生カルテ」または「学生生活の栞」巻末様式の「写真票」使用にて速やかに登録をお願いします。

結果

8月下旬に大学本部から送付される「成績通知書」によって通知します。

再試験

今学期登録した科目で、単位を修得できなかった場合は、**次の学期に学籍がある場合に限り（休学中を除く）、科目登録をしなくても再試験を受験できます。（再試験に係る授業料等はかかりません。）**

今学期で在学期間が終了する方は、出願期間中に次の学期の入学出願を行い、学籍を継続してください。

（この場合、他に受講希望科目がなければ、出願時の学費は入学料のみとなります。）

ただし、再試験科目と同じ試験時間に新規科目を登録すると、どちらか1科目しか受験できません。

自習室について

試験期間中には、下記施設を自習室として開放します。利用にあたっては、下記注意事項と当日の掲示物を必ず確認してください。

●青森学習センター

青森学習センター講義室・・・7月21日(日)～7月28日(日)の9:00～18:00
(※7/22・7/26は閉所日。)

※試験対応のため利用できない場合があります。その場合は、当日の掲示物にてお知らせしますので、図書室・視聴学習室またはコラボ弘大1階の自習スペースをご利用ください。

●八戸サテライトスペース

ユートリー5階異業種交流室・・・7月19日(金)～7月28日(日)の9:00～18:00
(※7/22・7/26は閉所日。)

【自習室利用時の注意事項（青森・八戸共通）】 ※厳守願います。

- ①自習室の定員には限りがあるため、ご利用は先着順とします。
- ②退室する際は、忘れ物のないようご注意ください。
- ③自習室での私語は一切禁止します。

その他注意事項

●単位認定試験期間中は、図書室・視聴学習室の開所時間が変更になりますので、ご注意ください。

・青森学習センター 9:00～19:00

・八戸サテライトスペース 9:00～18:45

- カンニング、身代わり受験、その他試験の秩序を乱す行為等があった場合は、失格および懲戒の対象となります。また、故意ではなくとも持ち込みが認められていない印刷教材等を参照することは不正行為として取り扱われますので、十分注意してください。
- 天災、交通機関の事故、大雨・台風等による交通機関のまひ、その他受験生の責任に帰さないやむを得ない事態等（ただし、自家用車等使用時の事故等は除く）により、受験に支障が生じた場合は、学習センター・サテライトスペースにご連絡ください。
- 試験問題を持ち帰ることはできません。

駐車場

●青森学習センター

単位認定試験の際は、公共交通機関をご利用ください。

単位認定試験期間中（平日）は、駐車場を利用できません。

●八戸サテライトスペース

八戸駅前駐車場を3時間以上ご利用の場合は、当日限り有効で500円に割引となる「イベント券」を発行しますので、事務室窓口にお申し出ください。

2019年度第2学期 面接授業について

面接授業とは

「面接授業（スクーリング）」は、学習センター等で他の学生と一緒に教員から直接指導を受けます。幅広い学問分野で、授業形態は通常の講義形式のほか、実験やフィールドワーク等多彩な形態で開講しています。

- 1科目1単位で、授業料は5,500円。（放送授業は1科目2単位）
- 全8回（90分×7回+45分×1回）の授業を受講し、試験・レポート等により評価を行います。
- 全国で約8割の科目が土・日に開講されています。
- 全科履修生は、卒業要件として面接授業又はオンライン授業を20単位以上修得する必要がありますが、選科履修生・科目履修生も履修が可能です。



科目登録の

在学生の方は、下記の期間に放送授業・オンライン授業とともに科目登録申請を行ってください。
なお、在学生には7月中旬に「科目登録申請要項」が送付されます。

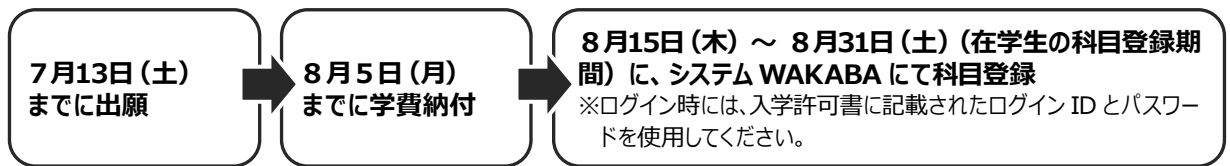
- 「科目登録申請票」による申請期間…8月15日（木）～8月30日（金）私書箱必着
- システムWAKABAによる申請期間…8月15日（木）9:00～8月31日（土）24:00

入学学期当初からの科目登録

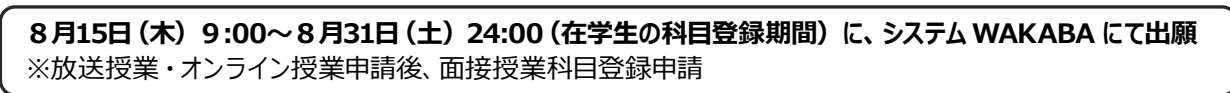
入学学期当初から面接授業の登録申請をする場合は、下記の手続きにて申請できます。
全科履修生、選科履修生、科目履修生のすべての学生種の方が登録できますが、下記のように入学の区分により手続き方法が異なります。詳細は「学生募集要項」にてご確認ください。

①新規入学生

②過去に放送大学に在籍したことがあるが、2019年度第1学期に学籍のない方



③継続入学生（2019年度第1学期に学籍があり、継続して入学される方）



トピック★

次学期も開講します！センター外面接授業

青森学習センター開講『白神学 - 白神の動物と植物』（弘前大学白神自然観察園）、『発掘が語る縄文文化』（三内丸山遺跡）、八戸サテライトスペース開講『環境と生物 - 種差海岸で考える -』（種差海岸インフォメーションセンター）などのセンター外の面接授業は毎回人気を博しています。

2学期も八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館においてセンター外面接授業が開催されます。

2学期詳細は、7月中旬に届く面接授業時間割冊子をご覧ください。



八戸

「是川遺跡からわかる縄文文化」
11/30（土）・12/1（日）

（講師：市川 健夫 先生・小久保 拓也 先生）



是川遺跡は、縄文時代終末の亀ヶ岡文化、漆文化を代表する遺跡です。明治期から学会で注目を集め、是川遺跡とその出土品を活用した研究は、日本考古学の進展に深く関わってきました。これまでの是川遺跡の調査・研究の成果を通じて、遺跡・出土品見学や縄文土器作り実習をまじえながら、日本考古学の研究の広がりや最新の縄文文化研究についてわかりやすく解説し、縄文文化や縄文人のものづくり技術、考古学に対する理解を深めます。

青森学習センター・八戸サテライトスペース 開講科目一覧

青森学習センター

科目区分	科目コード	クラスコード	科目名(担当講師)	場 所	開 講 日	定員
基盤科目	2529513	K	はじめからのパソコン操作 (一條 健司 先生)	弘前大学総合教育棟 2階情報処理演習室	11月30日(土)1~4時限 12月 1日(日)1~4時限	40
基盤科目: 外国語	2529521	K	英米文学の世界 (江口 真理 先生)	青森学習センター	11月16日(土)1~4時限 11月17日(日)1~4時限	40
	2529530	K	身近な素材で楽しむ英語 (小笠原 淑子 先生)	青森学習センター	1月11日(土)1~4時限 1月12日(日)1~4時限	30
専門科目: 生活と福祉	2529548	K	がん、がんによる死を防ぐために (土田 成紀 先生)	青森学習センター	11月16日(土)1~4時限 11月17日(日)1~4時限	40
専門科目: 心理と教育	2529556	K	脳による感覚と認知のメカニズム (藏田 潔 先生)	青森学習センター	11月 9日(土)1~4時限 11月10日(日)1~4時限	40
	2529327	K	心理学実験3 (平岡 恭一 先生)	青森学習センター	12月 7日(土)1~4時限 12月 8日(日)1~4時限	20
専門科目: 社会と産業	2529564	K	経済の地方特性について (松原 隆一郎 先生)	青森学習センター	10月19日(土)1~4時限 10月20日(日)1~4時限	40
	2529572	K	上京、Uターン、観光の人類学 (白石 壮一郎 先生)	青森県観光物産館 アスパム内会議室	12月21日(土)1~4時限 12月22日(日)1~4時限	40
専門科目: 人間と文化	2529580	K	寺山修司 詩・短歌・俳句を読む (久慈 きみ代 先生)	青森県観光物産館 アスパム内会議室	10月19日(土)1~4時限 10月20日(日)1~4時限	40
	2529599	K	近世北奥地域の造船動向と海運 (石山 晃子 先生)	青森県観光物産館 アスパム内会議室	12月 7日(土)1~4時限 12月 8日(日)1~4時限	40
総合科目	2529602	K	岩木山をめぐる自然と生活4 (瀧本 壽史 先生、佐々木 美 先生)	青森学習センター	12月14日(土)1~4時限 12月15日(日)1~4時限	20

八戸サテライトスペース

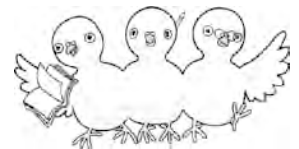
科目区分	科目コード	クラスコード	科目名(担当講師)	場 所	開 講 日	定員
専門科目: 生活と福祉	2529610	Q	精神保健医療と援助の基礎 (木村 緑 先生)	ユートリー5階視聴覚室	11月16日(土)1~4時限 11月17日(日)1~4時限	40
	2529629	Q	生涯スポーツの現状と課題 (綿谷 真志 先生)	ユートリー5階視聴覚室	12月14日(土)1~4時限 12月15日(日)1~4時限	40
専門科目: 心理と教育	2529297	Q	心理学実験1 (金地 美知彦 先生、山本 雄大 先生)	ユートリー5階視聴覚室	11月30日(土)1~4時限 12月 1日(日)1~4時限	20
専門科目: 社会と産業	2529637	Q	デザインの気づきデザインの体感 (高屋 喜久子 先生)	ユートリー5階視聴覚室	10月19日(土)1~4時限 10月20日(日)1~4時限	40
	2529645	Q	建築を科学する/材料と施工 (月永 洋一 先生)	ユートリー5階視聴覚室	10月26日(土)1~4時限 10月27日(日)1~4時限	40
	2529653	Q	裁判員のための法的思考(刑法) (高須 則行 先生)	ユートリー5階視聴覚室	12月 7日(土)1~4時限 12月 8日(日)1~4時限	40
専門科目: 人間と文化	2529661	Q	是川遺跡からわかる縄文文化 (市川 健夫 先生、小久保 拓也 先生)	八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館	11月30日(土)1~4時限 12月 1日(日)1~4時限	30
専門科目: 自然と環境	2529670	Q	環境と気候変動を科学する (根城 安倍 先生)	ユートリー4階研修室	10月19日(土)1~4時限 10月20日(日)1~4時限	40
	2529688	Q	環境問題に対する化学の役割 (小林 正樹 先生)	ユートリー5階視聴覚室	11月 9日(土)1~4時限 11月10日(日)1~4時限	40

登録追加 申請科目

科目登録決定後に、定員に余裕がある科目については、**追加科目登録**を受け付けます。科目登録申請期間中に登録できなかった方や、学期途中で履修科目を追加したい方は、ぜひご利用ください。

詳細は、9月中旬～下旬に送付する案内チラシにてお知らせします。

- 空席状況発表日…10月19日(土) 12:00
- 事前申請期間…10月19日(土) 12:00 ~ 10月24日(木)
- 先着申請期間…10月25日(金) ~ 各科目の受付期限まで



2019年度より、青森SC・八戸SSの面接授業実施時間帯が変更になっております。変更後の時間帯は下記のとおりですので、ご注意ください。

【1日目】	1時限: 10:00~11:30	【2日目】	1時限: 10:00~11:30
	2時限: 11:40~13:10		2時限: 11:40~13:10
	3時限: 14:00~15:30		3時限: 14:00~15:30
	4時限: 15:40~17:10		4時限: 15:40~16:25
			試験・レポート等実施時間: 16:25~17:10

ご注意
ください!

次学期へむけての手続き

次学期も学籍が続く方

科目登録申請が必要です。7月中旬に大学本部より送付予定の「科目登録申請要項」等の関係資料を参照のうえ、科目登録申請を行ってください。申請は、①郵送 または ② WEB (システム WAKABA) のどちらか一つの方法にて手続きしてください。

- 申請期間 ①郵送…8月15日(木)～8月30日(金) 私書箱必着
- ②WEB…8月15日(木) 9:00～8月31日(土) 24:00

※学部生は、放送授業・オンライン授業のほか面接授業の科目登録もあわせて行ってください。

※科目登録申請開始の8日前になっても「科目登録申請要項」等の関係資料が届かない場合は、大学本部へお問い合わせください。(電話:043-276-5111(総合受付))

※全科履修生が科目登録申請および授業料納入を4学期間(2年間)続けて行わない場合は除籍となります。現在3学期間にわたって科目登録をしていない方は、この期間にぜひ科目登録をされることをおすすめします。

9月末で学籍が切れる方

継続入学出願が必要です。①郵送 または ② WEB (システム WAKABA) の「教務情報→継続入学申請」のどちらか一つの方法にて出願してください。

- 出願期間 ①郵送…6月15日(土)～9月20日(金) 私書箱必着
- ※「継続入学用出願票」や一般の出願票使用
- ※集団入学または共済組合を利用して入学した方および自主退学者には、継続入学関連書類は送付されません。
- ②WEB…6月15日(土) 9:00～9月20日(金) 24:00
- ※WEB出願の場合も、証明書類は9月20日(金) 私書箱必着



※なお、下記にあたる場合は、出願方法や出願時期にご注意ください。

(A) 入学学期当初より面接授業の科目登録を希望する場合

必ず8月15日(木)～8月31日(土)(在学生の科目登録期間)に、システム WAKABA「教務情報→継続入学申請」にて出願し、放送授業・オンライン授業申請後に、面接授業科目を登録申請してください。

※郵送による出願や、上記期間外に出願した場合は、学期当初からの面接授業科目の登録ができません。

(B) 2019年度第1学期に登録した科目の通信指導再提出・再試験のみを次学期に希望する場合

出願票裏面の科目登録欄は空白にし、●印の設問欄(桃色)の回答を「はい」として○を記入して出願してください。その場合は、入学料のみ必要となり、授業料は不要です。

※ただし、2019年度第1学期単位認定試験に合格した場合は、出願は無効となります。

(C) 過去に全科履修生として在籍したことのない選科・科目履修生が、全科履修生として入学希望の場合

「継続入学用出願票」では出願できませんので、システム WAKABA または「学生募集要項」を取り寄せたうえで「全科履修生出願票」にて出願してください。入学資格を証明するための証明書類などの提出が必要となります。

卒業見込みの方

●継続して出願をお考えの方は、7月中旬に送付される「卒業見込み者宛て連絡事項」および8月下旬に送付される「卒業認定通知」により卒業となるかをご確認のうえ出願してください。

※入学学期当初より面接授業の科目登録を希望する場合は、必ず8/15(木)～8/31(土)(在学生の科目登録期間)に、システム WAKABA「教務情報→継続入学申請」にて出願し、放送授業・オンライン授業申請後に、面接授業科目を登録申請してください。



7月・8月・9月・10月のスケジュール

■閉所日 □面接授業 ▨単位認定試験 ▨試験 ■利用停止期間

7月	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

8月	月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

9月	月	火	水	木	金	土	日
							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
30							

10月	月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

7月

19日(金) 2019年度第1学期単位認定試験(大学院)《～7/20》
 21日(日) 2019年度第1学期単位認定試験(教養学部)《～7/28》
 26日(金) 単位認定試験期間中閉所日
 30日(火) 単位認定試験最終日翌々日閉所日

■面接授業■

6日(土)～7日(日) 「ヨーロッパとは何か:歴史と理念」(青森)
 「環境と生物-種差海岸で考える-」(八戸)
 13日(土)～14日(日) 「明日の健康と予防への取り組み方」(青森)
 「福祉マネジメント論」(八戸)

8月

13日(火)～15日(木) 臨時閉所日
 15日(木) 2019年度第2学期科目登録申請開始
 《締切・郵送: 8/30、WEB: 8/31 24時》
 24日(土) 教員免許更新講習 修了認定試験《～8/25》
 26日(月) 2020年度修士全生・博士全生出願締切
 30日(金) 2019年度第2学期科目登録申請締切(郵送)
 31日(土) 2019年度第2学期科目登録申請締切(WEB)
 2019年度第2学期第1回出願締切
 (教養学部、大学院修士選科・科目生)

9月

1日(日) 2019年度第2学期第2回出願受付開始《～9/20》
 (教養学部、大学院修士選科・科目生)
 20日(金) 2019年度第2学期第2回出願締切
 (教養学部、大学院修士選科・科目生)
 24日(火) 図書室・視聴学習室の利用停止《～9/30》
 27日(金) 2019年度看護師資格取得に資する科目(夏季集中型)
 単位認定試験 《～9/28》

10月

5日(土) 2019年度第1学期学位記授与式・
 2019年度第2学期入学者のつどい(青森)
 6日(日) 2019年度第1学期学位記授与式・
 2019年度第2学期入学者のつどい(八戸)
 19日(土) 2019年度第2学期面接授業空席発表(12時)・
 追加登録事前申請受付開始《～10/24》
 25日(金) 教員免許更新講習(冬期)受付開始《～11/22》
 2019年度第2学期面接授業・
 追加登録先着申請受付開始(～各科目の受付期限まで)

■面接授業■

19日(土)～20日(日) 「経済の地方特性について」(青森)
 「寺山修司 詩・短歌・俳句を読む」(青森)
 「デザインの気づきデザインの体感」(八戸)
 「環境と気候変動を科学する」(八戸)
 26日(土)～27日(日) 「建築を科学する/材料と施工」(八戸)

新学期準備に伴う利用停止について

新学期準備のため、下記の期間は、図書室・視聴学習室の利用を停止します。

●図書室・視聴学習室の利用停止期間: 9月24日(火)～30日(月)
 ※ただし、夏季集中科目履修生(看護)は試験日(9/27. 28)に限り
 図書室・視聴学習室を利用できます。

臨時閉所日について

下記の日は臨時閉所いたします。
 ご迷惑をおかけいたしますが、よろしく
 お願いいたします。

【臨時閉所日】

8月13日(火)
 8月14日(水)
 8月15日(木)



事務局からのお知らせ



住所変更手続きについて

(詳細「学生生活の葉」教養学部版 P89、大学院版 P83参照)

入学後、「現住所」「連絡先」に変更があったときは、速やかに『住所等変更届』(「学生生活の葉」巻末様式4、大学院は様式3)を下記宛先へ提出してください。(システムWAKABA「教務情報→変更・異動手続」からも届け出できます。)なお、「現住所」の変更は、最寄りの郵便局にも「転居届」を提出してください。

住所等各種変更手続きについては、「学生生活の葉」または「利用の手引き」にて詳細を必読の上申請してください。

- 提出先 教養学部・所属の学習センター・サテライトスペース
大学院・修士全科目生・大学本部教務課大学院研究指導係
修士選科・科目生・大学本部学生課入学・履修係

※通信制大学にとっては、郵便は「命綱」のようなものです。変更があった場合は必ず届出を行ってください。

2019年度第2学期入学生募集

【出願期間：6/15(土)～9/20(金)】

教養学部生、大学院修士選科・科目生大募集！

ご友人、ご家族・ご親戚、ご同僚など、皆様の周りに「学び」に関心のある方がいましたら、この機会にぜひ放送大学をご紹介します。

口コミでどんどん学友の輪を広げましょう。もしかしたら、身近なあの人が10月にはともに学ぶ仲間になっているかも…？もちろん、継続入学生も大歓迎です！

資料請求、体験学習・入学相談を随時承っております。お気軽に学習センターまたはサテライトスペースにお問い合わせください。

あなたのまわりに

「学びたい人」、
いませんか？



働きながら
大学卒業したい

教養を深め
キャリアアップ！



学ぶ喜びを
味わいたい！

放送大学でともに学ぼう！

2020年度入学修士全科目生・博士全科目生募集

【出願期間：8/15(木)～8/26(月)】

大学院修士全科目生および博士全科目生を募集します。

修士全科目生は修士課程を修了して「修士(学術)」の学位取得を目指す学生、博士全科目生は博士後期課程を修了して「博士(学術)」の学位取得を目指す学生です。入学資格を満たす方に対し入学者選考(筆記試験、面接試験)を行った上で入学を許可します。

募集要項を希望の方は、お気軽に青森学習センター・八戸サテライトスペースへお問い合わせください。

公開講演会予定

演 題	日 時	講 師	会 場
青森の食材と健康	7月10日(水) 13:30～15:00	加藤 陽治 氏 (弘前大学名誉教授)	黒石市産業会館 4階大会議室
青森の伝統工芸	8月29日(木) 13:30～15:00	石川 善朗 氏 (弘前大学教授)	青森県民福祉プラザ 県民ホール
大好きなことで誰かの役に立つ ～地方活性化を目指したアイドルたちの実践～	10月26日(土) 13:30～15:00	樋川 新一 氏 (弘前アクターズスクール代表)	コラボ弘大8階 八甲田ホール
土の話 ～人間の生存を支える土壌の重要性～	10月26日(土) 13:30～15:00	青山 正和 氏 (弘前大学教授・ 放送大学青森学習センター客員教授)	むつ市立図書館 視聴覚ホール
どうすべ？農産物のこれからの販売戦略とその悩み ～「ブランド」「商標とクラブ制農産物」 「GlobalGap 認証」などを考える～	11月9日(土) 13:30～15:00	V.L. カーバンター 氏 (弘前大学名誉教授・ 放送大学青森学習センター客員教授)	つがる市立図書館 セミナー・学習室

- 青森学習センター 〒036-8561 青森県弘前市文京町3 コラボ弘大7階
TEL：0172-38-0500 FAX：0172-38-1299 Twitter：@aomoricenter
- 八戸サテライトスペース 〒039-1102 青森県八戸市一番町1-9-22 ユートリー4階
TEL：0178-70-1663 FAX：0178-70-1667
- 青森学習センターむつ校 〒035-0073 青森県むつ市中央2-3-10 むつ市立図書館内
TEL：0175-28-3500 FAX：0175-28-3400 (※視聴・貸出のみ対応)
- 青森学習センターあおもり校 〒030-0801 青森県青森市新町1-3-7 青森市民図書館内(アウガ8階)
TEL：017-776-2455 FAX：017-776-2400 (※視聴・貸出のみ対応)
- 放送大学ホームページ <https://www.ouj.ac.jp/>

